

2013年7月8日

7月11日、第22回医療福祉セミナーを開催 離島過疎地域における地域福祉の実践 ～大学・地域間連携の視点から～

広島国際大学（学長 秋山實利）では、よりよい地域福祉のあり方を地域福祉推進の中核的役割を担う社会福祉協議会の立場から学ぶとともに、大学と地域の連携による地域福祉推進の可能性を考える医療福祉セミナーを開催します。

今治市関前(岡村島)に交流拠点を開設 住民主体の地域活性化を支援

瀬戸内地域には離島が数多く存在し、豊かな自然・文化遺産を有することで、さまざまな景観を楽しむことができます。しかし一方では、生活・生産基盤の整備が十分とはいえ、急激な過疎・高齢化の進行などと相まって、地域活力の低下という深刻な事態を迎えています。こうした現状を踏まえ、広島国際大学医療福祉学部（吉川眞学部長）では一昨年、愛媛県今治市関前・岡村島に交流拠点「関(まるせき)の家」を開設し、住民や社会福祉協議会などの専門機関、研究者、学生たちが力を合わせて生活や福祉の向上につながる取り組みを続けています。

地域と大学の連携による地域福祉推進の可能性を考える

今回のセミナーでは、今治市社会福祉協議会玉川支部長・島崎 義弘氏をお招きし、離島に住む人々への地域福祉の実際について基調講演をいただいたあと、シンポジウム形式で、「関(まるせき)の家」の運営に携わる岡部紘一理事長と医療福祉学部の学生・教員が、地域と大学の連携による地域福祉推進の可能性について考えます。

1. 開催日時：2013年7月11日（木）16：30～18：00
2. 場 所：広島国際大学 東広島キャンパス 1号館 2階 121 教室
（〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台 555-36）
3. 対 象：一般、大学生、社会福祉協議会職員
4. 概 要：【基調講演】講師 島崎 義弘氏（今治市社会福祉協議会玉川支部長）
【シンポジウム】
シンポジスト 岡部 紘一氏（関の家 理事長）
藤本 静香氏（関の家 理事、本学医療福祉学部4年生）
渡辺 晴子氏（関の家 理事、本学医療福祉学部教員）
コーディネーター 矢原 隆行氏（関の家 理事、本学医療福祉学部教員）

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 医療福祉学部医療福祉学科（渡辺） TEL：0823-73-4611

■取材の申し込み先・本件発信部署

広島国際大学 企画課（坂井）

TEL：0823-70-4922